

## 4-2 協議会の意見

くめ支え合うプラン推進協議会委員(下部の部会委員を含む)へのアンケート及び協議会において、第1期プランの取組状況について次のとおり意見を受けました。

### ○委員アンケート(課題に対する取組状況の評価)

第1期プランの8つの課題	解決への取組 みがあまり進ん でいない	解決に向けて今 後も継続した取 組みが必要	解決への取組 みが十分に進ん だ
①支え合う意識やつながりの希薄化への対応が必要	1	38	1
②誰もが気軽に集える場の不足への対応が必要	9	29	2
③相談しづらいことへの対応が必要	4	34	2
④複合的な課題や制度の狭間の課題等への対応が必要	9	29	2
⑤地域防災力の強化が必要	9	31	0
⑥地域活動等の担い手不足への対応が必要	11	29	0
⑦地域住民等への支援の強化が必要	4	36	0
⑧情報が適切に入手できていないことへの対応が必要	10	28	2

### ○主な意見の内容

取組方針	主な意見
「関係を豊かにする」に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集える場に参加する人が限られている</li> <li>・集える場への移動手段の確保が必要</li> <li>・地域福祉において「居場所」はキーワード</li> </ul>
「寄り添う関係を整える」に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場や制度があるだけでなく、人がそこに「つながる」ことが必要</li> <li>・「支援」のあり方自体を考える機会も必要</li> <li>・教育との連携が必要。こども自身が意識していくことが大切</li> <li>・子育て支援では、相談支援の関係機関の連携など良い流れができてきている</li> <li>・就学のタイミングで難しいことがたくさん出てくる</li> <li>・不登校などの問題も家庭全体を支えていく必要があり、専門職がいれば解決できるというものでもない</li> <li>・生活困窮者支援の新たな課題として居住支援、ひきこもり、居住環境改善支援がある</li> <li>・支え合い推進会議などこれまでの取組みを基盤に住民の役に立つ仕組み化が必要</li> <li>・更生保護における地域連携のネットワーク構築が必要</li> <li>・防災士の活躍の場が必要</li> <li>・現実のニーズを把握しづらい課題が多い</li> </ul>
「地域をともに創る人を育む」に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の意識改革が必要。関心を持ってもらい理解者を増やすことが必要</li> <li>・地域住民や事業所などにプランの内容が十分に伝わっていない</li> <li>・すべての人にわかりやすい、取組みの一步につながるプランになってほしい</li> <li>・担い手不足に対する解決策が見えない</li> <li>・地域活動等に参加していない人への働きかけが必要。一步踏み出す意識づけときっかけづくりが課題</li> <li>・取組みの必要性はわかっているが市民活動団体の時間や労力に余裕がないこともある</li> <li>・一団体では難しいことも分野を越えて連携することでできることもある</li> <li>・働く世代に余裕がなく、地域での活躍が難しい現実がある</li> <li>・PTAやコミュニティのあり方・システムを時代に応じたものに変えて行く必要がある</li> <li>・地域のコミュニティで本当にやらないといけないことは何かを考えていった方が良い</li> <li>・福祉の世界はボランティア精神を求められがちだが、現場には継続して支援ニーズがあり、長期的に継続していくための資金が必要</li> </ul>

